

中学生連載企画 私たちのふるさと松山学 No.23 湯山中学校

松山平野の水のふるさと湯山

私たちの住んでいる湯山地域の真ん中を石手川が流れています。石手川には農

業用水などを引くための堰がたくさんありますが、その中でも湯山地域に多くの堰があります。今回の調査では寺井堰、草場(葉堰)、市(一)之井手堰の3カ所を

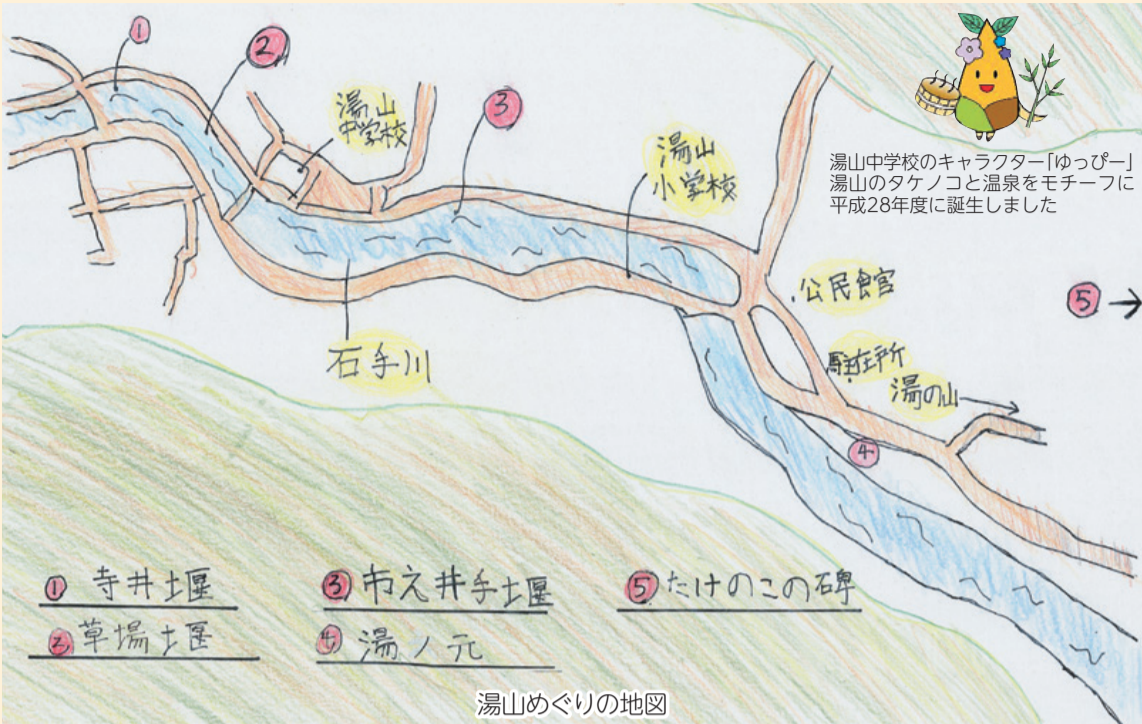
調べました。寺井堰は、天保13年(1842)に三浦正左衛門によって改修されたといわれています。その業績を顕彰した頌功碑が建立されています。

湯山から連想するものと聞かれたら「タケノコ」と答える人も多いのではないのでしょうか。タケノコは湯山地区の農家にとって中心作物の1つです。「湯山タケノコ」として人気が高く、白くて肉質が柔らかく、えぐみが少ないのが特徴です。タケノコの品種である孟宗竹は中国の江南地方が原産といわれ、今から約200年ほど前に旧杉立村の宮本作右衛門が京都から種竹として2本持ち帰ったのが松山地方

湯の里の歴史 私たちのふるさと「湯山」は、温泉の里でもあります。地域の中に7つの源泉があり、「湯山七湯」と呼ばれていました。その中で現在活用されているのが「湯元源泉」です。泉質はアルカリ性硫酸泉で源泉の温度は38度です。実際に源泉をとり、触ったりにおいを感じたりすると、ぬるぬるした肌触りで硫黄のにおいがありました。バルブを開くとすごい勢いで噴き出し、1分間に400リットル、2リットルのペットボトル200本分という湯量の多さが実感できました。

結果、湯量豊富な源泉を掘り当て今の温泉が完成し、市内のホテルにも引き湯をしているそうです。この源泉を利用して地元のホテルでは源泉100割掛け流しで提供し、国内の観光客だけでなく、海外の人からも人気で温泉治療や美容に効果があると言われてい

松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10〜14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることが出来ます。



湯山めぐりの地図



寺井堰



竹林の中にある記念碑

今、温泉地として知られています。最初がボーリングを実施してもなかなか温泉が湧いてこず、諦めたことでもあったそうです。しかし、地域のためにと考え掘り続けた



湯ノ元源泉

いろいろな人の力で築かれた ふるさと「湯山」めぐり

私たちは、ふるさと「湯山」の里を巡りながら普段あまり意識していない地域の特色や歴史、産業などについて調べまとめました。

ふるさと「湯山」を未来へつなげたい



左から戒能圭伍さん、向井圓之介さん、秋岡ちひろさん、岡部実生さん(いずれも1年)

普段は何気なく通っている道、見ている川、山の中に堰や温泉、タケノコなど、ふるさと「湯山」を築いた人の足跡があることを知りました。昔の人の努力を尊敬しながら、私たち若い世代が未来へつなげていきたいと思ひます。

先人と文化の読み物教材
「語り継ぎたい
ふるさと松山百話
I・II・III」